

真声会大阪

発行：京都市立芸術大学音楽学部同意会 真声会大阪支部
 事務局：〒545-0004 大阪市阿倍野区文の里4-12-25 樋口博行 方
 Tel/Fax 06-6624-3425
 E-mail h.higuchi@kinran.ed.jp
 郵便振替口座 00960-4-47824 真声会大阪支部
<http://senri-music.com/shinsekai-osaka/>

【プロムナード・コンサート出演者募集】

来年の芦屋と箕面でのプロムナード・コンサート出演者を募集いたします。初めての開催となる箕面は、豊能郡在住の池田董さん（62期 pf）から、大阪北摂地域の会員の皆様との交流も兼ねて、企画のご提案をいただき、開催が決定いたしました。コンサートへの出演、お手伝い、ご意見など、色々な形でのご参加をお待ちしております。

Googleフォームから必要事項を記入の上、応募して下さい。お問い合わせは、各担当へお願いします。

プロムナード・コンサート in 芦屋

日時：2026年4月26日（日）14:00開演

場所：芦屋仏教会館（登録有形文化財）（客席数100）

謝礼：1組1万円

チケット代：2,000円

配当：1組チケット売り上げの1/2

交通費：コンサート当日分支給

対象：芦屋市、西宮市、神戸方面、尼崎市、に在住、もしくは出身、
または演奏活動をされている方

募集：4組

（締切 2026年1月20日）

[会場アクセス]兵庫県芦屋市前田町1-5

阪急芦屋川駅：徒歩約7分・JR芦屋駅：徒歩約9分・阪神芦屋駅：徒歩約13分

問い合わせ先：yshinoda999@gmail.com（信多仁子）

プロムナード・コンサート in 箕面

日時：2026年10月10日（土）14:00開演

場所：箕面市立メイプルホール 小ホール（客席数100）

謝礼：1組1万円

チケット代：2,000円

配当：1組チケット売り上げの1/2

交通費：コンサート当日分支給

対象：箕面市、池田市、豊中市、茨木市、吹田市、高槻市、豊能町在住の方

募集：4組

（締切 2026年3月31日）

[会場アクセス]大阪府箕面市箕面5丁目11番23号

阪急電車「箕面駅」から徒歩約7分

北大阪急行「箕面萱野駅」から阪急バス阪急箕面駅方面に乗りし「阪急箕面駅」下車（約15分）

問い合わせ先：sumire.ikedai.pianist@gmail.com（池田董）



芦屋・出演
申込フォーム



箕面・出演
申込フォーム

プロムナード・コンサート in 三田 が開催されました。

2025年8月30日(土) 郷の音ホール アクトスクエア
(三田市総合文化センター)

福井 聡 (37期c1)

企画担当しております福井聡です。4回目となります兵庫県三田市のプロムナードコンサート、今年は8月30日郷の音ホール(アクトスクエア)で行いました。100名収容の小さなホールですが、73名のお客様に足を運んでいただきました。今回はこの企画に4社の企業様が賛同していただき、また神戸新聞社様からもお問い合わせがありました。

ほんの20分程の持ち時間を4組の奏者が練りに練って披露していただきました。毎年お越しくださるお客様もいらっしゃるようになり、色んな音を生でしかも近くで聴ける絶好の機会と言ってくださいる方もいらっしゃり嬉しく思います。

準備、集客など仕事をしながら大変ではありますがお許しがある限り続けていきたいと思っております。最後になりますが大阪支部の役員の皆様にはいつもたくさんのお知恵、お力添えをいただきこの場をお借りしてお礼申し上げます。



沢山のお客様がご来場
くださいました。



受付お手伝いの、左からノ瀬さん、
吉本さん、信多さん。吉本さんは、
ミュンヘンから一時帰国中でした。

上原 心 (70期sax)

初めてプロムナードコンサートに出演させていた
だき、先輩方と世代を超えて共演できたことは、大変貴重
で思い出深い経験となりました。温かい雰囲気の中で支
えてくださった皆さまに心より感謝いたします。この出
会いを励みに、これからも音楽と真聲に向き合ってまい
ります。



企画から当日までの準備、そして演奏と、
大活躍してくださった福井さんとご夫妻。

福井 真裕子 (34期Df)

今年も大阪支部のプロムナードコンサートに出演させて
いただき、ありがとうございました。

4回目の三田市開催でしたが、近隣の方から少し遠方
にお住まいの方でも多くの方にお聴きいただき、皆さん、
バラエティに富んだアンサンブルが楽しかったとのこと
で大変嬉しく思います。

このような機会を作っていただいている大阪支部役員
のみなさまに心より御礼申し上げます。

卒業生の演奏の場となるこのコンサートが続けられる
よう、微力ながら私もお手伝いできたらと思います。今
後ともどうぞよろしく願っています。



トップバッターは、ソプラノサッ
クスの上原さんとピアノの山本さん。

山本 陽世 (70期pf)

今回初めて出演させていただきました。想像以上に沢山のお客様に聴いていただき大変嬉しかったです。

京芸の大先輩の方々と同じ舞台上に立たせていただきとても良い経験になりました。ありがとうございました。



ステマネも、力仕事もこなす兵頭さん。



懐かしい人々との再会もありました。



ミーティングルームで、カンパーい!

受付お手伝い

一ノ瀬夏美 (28期pf) 信多仁子 (32期pf)

兵頭正文 (35期tub) 吉本成美 (57期pf)

プログラム

シューマン：3つのロマンス 作品94 ソプラノ・サクソフォン：上原 心(70期)
ピアノ：山本 陽世(70期)

サン＝サーンス：クラリネットとピアノのためのソナタ変奏長調 作品167
クラリネット：福井 聡(37期)
ピアノ：福井 真裕子(34期)

プロコフィエフ：2つのヴァイオリンのためのソナタ 作品56
ヴァイオリン：河村 真央(62期)
柳原 史佳(63期)

中田 高直/作詞 三好 達治：たんぽぽ
團 伊玖磨/作詞 大木 実：藤の花
／作詞 北山 冬一郎：紫陽花
小林 秀雄/作詞 野上 彰：落葉松
山田 耕輔/作詞 大木 実：羞薇の花に心をこめて
ソプラノ：阪口 楓(59期)
ピアノ：竹本 玲美(57期)



河村さんと柳原さん、お2人息ぴったり演奏で、決めのポーズもカッコいい!

河村 真央 (62期vn)

この度は真声会大阪支部プロムナードコンサートに出演させていただきました、ありがとうございます。今回2度目の出演でした。いろいろな学年、楽器の方々と関わらせていただけるこのコンサート、京芸の層の厚さを改めて感じるとともに皆様の素晴らしい演奏に1日があっという間に終わってしまいました。

プロコフィエフの2台のヴァイオリンソナタという演者も大変ですが聴いてるお客様も大変なこの曲を、とても心地よい空気の中で演奏させていただきました。また同じ三田市出身の柳原さんと取り組めたことも、リハーサルを含め楽しい時間でした。様々なご縁に感謝して、これからも邁進していきます。

最後になりましたが、支えていただいたスタッフの皆様、本当にありがとうございました。



美しい日本語が印象的な阪口さんと、繊細なピアノでサポートされた竹本さん。

阪口 楓 (59期sop)

ホールの素敵な響きとおお客様の温かさを肌で感じる事が出来たとても幸せなひと時でした。お暑い中足をお運びくださったお客様をはじめ、演奏会を支えてくださった皆様、共演者の皆様にも感謝申し上げます。

プロムナードコンサートを通して同じ学舎で学んだ素晴らしい卒業生の皆様と世代を超えて一緒に過ごしてきた事はとても刺激的で同時にホームに帰ってきた安心感がありました。今回の経験を励みにまたより一層成長出来ますよう精進して参りますので、今後とも引き続き宜しくお願い致します。

柳原 史佳 (63期vn)

この度は、真声会主催のプロムナードコンサートに三田の地で出演させていただき、大変光栄に、そして嬉しく思っております。

地元である三田での開催ということもあり、多くの方にご来場いただきましたことに深く感謝申し上げます。また、このコンサートは、日頃なかなかお会いする機会のない京都市立芸術大学の先輩、後輩の皆様と交流できる貴重な場ともなりました。世代を超えた交流を通じて、改めて京芸とのつながりの深さを感じることができました。

今後とも、この地元と母校である京芸との関わりが続いていくことを心から願っております。

最後に、コーディネーターの福井様をはじめ、共に出演された皆様、そして本コンサートを陰で支えてくださったお手伝いの皆様の多大なるご尽力に対し、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

竹本 玲美 (57期pf)

真声会主催のプロムナードコンサートに関わらせていただくことも3度目となり、今回も貴重な機会をありがとうございました。

ソプラノ阪口楓さんとの共演で、日本歌曲から「花」をテーマとした作品の数々を演奏させていただきました。

和声感豊かなそれぞれの季節を感じるプログラムを阪口さんの歌声にのせ、演奏中はとても満ち足りた時間でした。終演後、お客様からも嬉しいお言葉をたくさんいただきました。

決して大きなホールではありませんが、お客様との距離も近く、音楽の対話ができる素晴らしいひと時でした。地域の音楽交流活性化のきっかけとして、音楽家が地域に還元できるものを模索しながら、今後も微力ながらお手伝いさせていただきますと幸いです。

企画・運営に関わってくださった真声会や関係者の方々、ご来場くださった皆様に、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

お客様からも嬉しいご感想もいただきました。

- ・前回の伊丹に続き三田も拝聴いたしました。とても素晴らしい演奏で、今後も聴かせていただきたいと思います。
- ・サクソフォンは19世紀に開発された比較的新しい楽器で、それまでのクラシック音楽とは無縁ですが、上原心さんの今日の演奏を聴き、今後のクラシックにとってサクソフォンが無限の可能性を秘めていると実感しました。
- ・素晴らしかった！福井ご夫妻の演奏、サクソフォン、ヴァイオリン、ソプラノ、どれも素晴らしい！



アンコールは全員でラフマニノフのヴォカリーズ。



全て終わって、充実した表情の出演者のみなさん。

ワルシャワの秋～ショパンコンクール体験記

一ノ瀬 夏美 (28期of)

大富 栄里子 (28期of)

10月初旬、5年に一度開催されているショパン国際コンクールを聴きにワルシャワを訪れました。課題曲は全てショパンのみ、4月の予備予選 642 名から選ばれた 84 名が本審査へ臨みました。

私たちが聴いたのは一次予選だけでしたが、ピアノ世界三大コンクールの一つと言われているだけあって、すでに様々な入賞歴のあるコンテスト達の演奏はともレベルが高く、今回、特に中国人ピアニストの活躍は目を見張るものがありました。

会場で聴くショパンは共有している空間を縫って伝わってくる音の質感や選んだピアノによる違い、また聴衆の反応の温度差もリアルに感じる事ができて、大変興味深いものでした。が、鑑賞とはいえ、毎日8時間聴くのはかなり体力のいるものでした。結果はエリック・ルー（アメリカ）が第1位、日本からは4位に桑原志織さんが入賞。桑原さんの演奏は堂々と貫禄さえあり、聴衆も安心して聴いているように感じました。審査についてはご存知のように物議を醸している面もあり、SNSでは今も冷めやらぬ余波が続いていますが、連日一人一人の渾身の演奏を聴き続けて判断を下さねばならない審査員の大変さもいかにわかりかと思いました。

急ぎ足の観光でしたが、豊かな伝統と近代化が融合したワルシャワは今でもショパンの匂いが残っていて、どこか素朴で不思議な懐かしさを感じる街でした。一方で異質な雰囲気を感じていた社会主義の遺産、文化科学宮殿は波乱万丈の歴史を、そして今の隣国での痛ましい戦争の現実を思い出させるものでした。

今度はもう少し深くポーランドを知ってみたい、もう一度来たい、という思いを募らせながら帰国の日を迎えました。



ワルシャワ旧市街



ショパンの生家



聖十字架教会
(ショパンの心臓が納められている)



文化科学宮殿



フージェンキ公園のショパン像



フィルハーモニーホール
(コンクール会場)



審査員席



コンクールのプログラムとポーランドの食器

INFORMATION

インフォメーション

♪ R. アーン生誕150+1年記念歌曲演奏会 ソワレの会主催

*日時: Vol.1 12月27日(土)15:00開演

Vol.2 12月28日(日)16:00開演

*会場: 里夢 SATOM (阪急六甲駅より徒歩6分・JR六甲道駅より徒歩13分)

*出演: Vol.1 信多仁子 (32期 pf) 上木裕子 (34期 sop) 藤美千代 (43期 sop) 中西金也 (49期 bar) 向山空羽 (大3 bar) 神谷天 (大3 pf) ほか

Vol.2 栗木充代 (34期 m. sop) 藤美千代 (34期 sop) 向山空羽 (大3 bar) 神谷天 (大3 bar) ほか

*曲目: Vol.1 「メロディー第1集・第3集」「灰色の歌」「12のロンドル」「ラテン礼賛」

Vol.2 「メロディー第2集」「ヴェネツィア」「傷ついた木の葉」「発見された9曲」

*フランスの作曲家、R. アーン (1874-1947) の全歌曲作品 (Vol.1 56曲・Vol.2 41曲) を年代順に、シンガー14名、ピアニスト14名で演奏していきます。

*入場料: 各回 一般2,000円 高校生以下500円

*問い合わせ: ソワレの会 (シノダ) 090-4038-1973 soiree.art.songs@gmail.com

♪ 上木裕子ソプラノリサイタル - 真実と偽りの狭間で -

*日時: 2026年1月30日(金)19:00開演

*会場: 兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール

*出演: 上木裕子 (34期 Vo) 信多仁子 (32期 Pf)

*曲目: E. ショーソン「7つの歌」より/F. ブーランク「偽りの婚約」/R. シュトラウス「4つの歌曲」作品36/A. シェーンベルク「6つのピアノ小品」作品19 (ピアノソロ) /A. シェーンベルク「キャバレーソング」より

*ヨーロッパの芸術や社会が目まぐるしく揺れ動いた19世紀から20世紀初頭に、真実と偽りの間で翻弄されながらも純粋に愛を描いた4人の作曲家の作品に焦点を当てます。現代を生きる私達にも通じる危うくも豊かな狭間をお楽しみください。

*入場料: 全席自由 一般3,000円 高校生以下500円

*問い合わせ: yume.uta521@gmail.com 090-6329-7967 上木裕子

♪ 原 由莉子ウィーン世紀末シリーズ Vol.9 ALLES WALZER! 甘美なる舞踏、沈みゆく帝都

*日時: 2026年2月7日(土)15:00開演

*会場: 国際楽器社ホール (大阪心斎橋)

*出演: 原由莉子 (63期 pf)

*曲目: ウェーバー「舞踏への勧誘 op.65」/J. シュトラウス (ドホナーニ編曲)「喜歌劇「こうもり」よりワルツ「Du und Du」/シューベルト「12のドイツ舞曲 (レントラー) D790」/シェーンベルク「5つのピアノ曲 op.23より第5曲『ワルツ』」

*ワルツの変遷を通して、ウィーンの歴史と精神史を描き出す、オール三拍子プログラム。ワルツに刻まれた人々の息遣いを、ぜひ会場でお感じください。(原)

*入場料: 3,000円

*問い合わせ: hara_ticket@gmail.com (原由莉子ウィーン世紀末シリーズ実行委員会)

会報のインフォメーションへの掲載について

○大阪支部後援名義について

申請をしていただきますと、チラシ、プログラム等に「後援: 真声会大阪支部」と掲載できます。

また、支部会報の発送時にチラシ等の同封も可能ですのでご連絡ください。

○活動報告、案内の他、受賞、入賞情報をお知らせ下さい。支部会報に掲載いたします。

大阪支部ホームページへの掲載依頼

問い合わせ: kana_m@nisiq.net (松村佳奈)



松村メール

支部会費をお納め下さい。

大阪支部は、大阪を中心とした地区における音楽活動ならびに親睦を図ることを目的とし、会員の構成は、大阪に在住、在勤、あるいは活動の本拠をもつ真声会会員となっていますが、制約はありません。現に、大阪の様子が知りたいと、東京在住の会員もおられます。

大阪支部の年会費は2,000円で、夫婦会員はお二人で2,000円です。(会費納入の際、その旨をお書きください。)同封の払込用紙に卒業期、専攻もご記入のうえ、お近くの郵便局からご送金ください。恐れいたしますが、払込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。

なお、学生・院生・今春の卒業生は今年度支部会費が免除されます。入会の意思を以前に会報と同送しましたハガキでお知らせください。

従来通りの振り込み用紙のほか、下記へ直接、
またはネットバンキングからの振込も可能です。

郵便局口座番号00960-4-47824 真声会大阪支部

* ゆうちょ銀行以外の金融機関またはネットバンキングからの会費のお振込みについて。

口座名は

「ゆうちょ銀行 ○九九(読み「ぜろきゅうきゅう」)

普通 47824 シンセイカイ オオサカシブ」
となります。



LINE 公式アカウントへの登録のお願い。

現在、真声会大阪支部 LINE 公式アカウントの運用をしています。是非、登録をお願いします。

毎週月曜日に、メッセージが届きます。

真声会大阪支部 LINE 公式アカウント QR コード

メールアドレスを教えてください。

大阪支部では、今後、会報の配信、皆さんへの連絡を、メールを利用することを考えています。メールアドレスをお持ちの方は、教えてください。下の QR コードから Google フォームへ入力してください。住所の変更、大阪支部への御意見も投稿できます。真声会大阪支部のメールアドレス kg.shinseikai.osaka@gmail.com への御連絡でもかまいません。

* お寄せいただいた個人情報は、真声会大阪支部の会員内の連絡のためにのみ利用されます。

* 会員の同意を得ることなく、第三者に情報を提供することはありません。

○ホームページもご覧ください。



大阪支部HP



メールアドレス記入用Googleフォーム

編集後記

今年も残り少なくなってきました。来年のプロムナード・コンサートは、2回目となる芦屋で、そして新たな地域として箕面での開催を予定しています。今後も、更に地域の方々に愛されるコンサートとなるよう、挑戦と進化を続けていきたいと思っております。来年もどうぞよろしくお願いいたします。(信多)